



その症状 専門医による診断が重要です



パーキンソン病 神経内科など神経の専門医を受診し、早期診断が重要

日本全国で10万人以上の患者が存在すると言われている「パーキンソン病」。60歳以降に発症することが多く、超高齢化社会を迎え今後ますます増える傾向にあります。難病というイメージが強いパーキンソン病ですが、的確な治療を行えば症状を改善することができるといえます。そこで、厚労省こころの健康科学研究事業・研究班でパーキンソン病の治療研究に取り組んでこられた、「くまもと温石病院」神経内科部長の松永薫先生に、パーキンソン病について詳しいお話をお聞きしました。



Q パーキンソン病はどのようにして起こるのですか？

A 松永 パーキンソン病とは、脳の黒質という部分の神経細胞が減ってしまうことが原因で起こる、脳の病気です。この神経細胞は「ドパミン」という神経伝達物質を作り、ドパミンを使って体を動かす機能を調節しています。ですから、黒質の神経細胞が減るとドパミンも減ってしまうため、脳から全身に出される運動の指令がうまく筋肉に伝わらず、体の動きが不自由になるなど様々な症状が出てくるのです。黒質の神経細胞が減少する原因として、環境や遺伝子などいくつかの要因が重なった結果だと考えられていますが、いまだはっきりとした原因は分かっています。また、パーキンソン病は中高年期、特に60歳以降に発症することが多く、超高齢化社会の到来に伴い、今後ますます増えると考えられています。

Q パーキンソン病の症状を教えてください。

A 松永 パーキンソン病とはほとんどありませんが、代表的な三大症状として、手足のふるえ「振戦」、筋肉のこわばり「筋固縮」、動作の遅さ「無動」があります。さらに病状が進行すると、バランスがとりにくくなる「姿勢反射障害」も現れます。

Q どのような治療を行うのですか？

A 松永 パーキンソン病は難病の一つではありますが、薬によって症状を軽減することができ、薬物療法が中心となります。現在はドパミンを補充する「L-DOPA製剤」をはじめ、様々なパーキンソン病の治療薬があり、私たち医師は症状に応じて処方します。一部の症例では外科療法をとる場合もあります。

また、運動機能の低下を防ぐためにリハビリテーションも大切です。当院では理学療法・作業療法・言語聴覚療法の総合リハビリ施設を備えており、パーキンソン病患者さんが1～2カ月入院して、専門スタッフによる集中的なリハビリを行った結果、症状が改善する例は少なくありません。

Q パーキンソン病の症状を教えてください。

A 松永 パーキンソン病とはほとんどありませんが、代表的な三大症状として、手足のふるえ「振戦」、筋肉のこわばり「筋固縮」、動作の遅さ「無動」があります。さらに病状が進行すると、バランスがとりにくくなる「姿勢反射障害」も現れます。

Q どのような治療を行うのですか？

A 松永 パーキンソン病は難病の一つではありますが、薬によって症状を軽減することができ、薬物療法が中心となります。現在はドパミンを補充する「L-DOPA製剤」をはじめ、様々なパーキンソン病の治療薬があり、私たち医師は症状に応じて処方します。一部の症例では外科療法をとる場合もあります。

また、運動機能の低下を防ぐためにリハビリテーションも大切です。当院では理学療法・作業療法・言語聴覚療法の総合リハビリ施設を備えており、パーキンソン病患者さんが1～2カ月入院して、専門スタッフによる集中的なリハビリを行った結果、症状が改善する例は少なくありません。

Q どのような治療を行うのですか？

A 松永 パーキンソン病は難病の一つではありますが、薬によって症状を軽減することができ、薬物療法が中心となります。現在はドパミンを補充する「L-DOPA製剤」をはじめ、様々なパーキンソン病の治療薬があり、私たち医師は症状に応じて処方します。一部の症例では外科療法をとる場合もあります。

また、運動機能の低下を防ぐためにリハビリテーションも大切です。当院では理学療法・作業療法・言語聴覚療法の総合リハビリ施設を備えており、パーキンソン病患者さんが1～2カ月入院して、専門スタッフによる集中的なリハビリを行った結果、症状が改善する例は少なくありません。

医療法人 愛生会 くまもと温石病院

◆診療科目
内科・整形外科・リハビリテーション科・歯科
呼吸器内科…肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)等
循環器内科…不整脈、虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞)、心不全等
消化器内科…逆流性食道炎、胃・十二指腸潰瘍、肝炎、胃・大腸がん等
神経内科…頭痛、めまい、脳卒中、パーキンソン病、てんかん等

◆当院で行っている専門的検査
●神経生理検査(筋電図、神経伝導検査、体性感覚誘発電位)
※土曜日半日のみ、要電話予約
手足のしびれ、力が入らない、うまく歩けない等の症状を訴える患者さんに対する診断に大変有効な検査です。当院は専門の医師と臨床検査技師が担当しており、多くの連携医療機関からもご紹介いただいております。

◆外来案内 午前9:00～12:00 午後13:30～17:00

診療科目	時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	一般内科 専門医外来	消化器	神経	呼吸器	循環器	循環器
	午後	一般内科 専門医外来	呼吸器	循環器	消化器	循環器	神経
整形外科	午前のみ	○(午前)					○(午前)
リハビリ科	午前のみ	○(午前)	○(午前)	○(午前)	○(午前)	○(午前)	○(午前)
歯科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	○

◆学会認定・専門・指導医(複数の資格を有する医師もいます)
日本呼吸器学会専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医、循環器学会専門医、外科学会認定登録医、救急科専門医・指導医、集中治療学会専門医、日本神経学会専門医・指導医、日本臨床神経生理学会認定医(脳波及び筋電図・神経伝導分野の両者)、日本老年医学会専門医・指導医(日本老年医学会認定施設)

下益城郡美里町中小路835
TEL **0964-46-3000**
FAX 0964-46-2464
ホームページリニューアルしました→
<http://www.onjaku.jp>

くまもと温石病院 検索